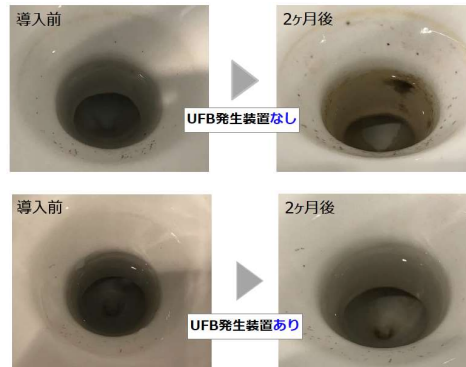


SDGs 各種産業洗浄分野でのファインバブル技術の社会実装化による「節水」事例

テーマ：オフィスビルにおけるトイレ清掃へのファインバブル技術応用

効果検証画像

小便器用目皿下 2か月清掃なし



【 社会的な課題 】

オフィスビルはCO2削減・脱炭素化が求められている。政策目標としてオフィスビルなどの業務部門の建物について、2030年度までに、CO2排出量を2013年度比で40%削減するといった政策目標が設定されている。

【 取組み内容 】

オフィスビル内の受水槽にUFB発生装置を設置し、循環生成したUFB水をトイレ水栓に供給。UFBの洗浄力により、男子小便器清掃における水使用量を削減。洗剤を使用した清掃回数を減らすことで、水使用量だけでなく洗剤使用量も削減。品質を維持しつつ、清掃工程も大幅に削減されるため、人件費削減にも寄与。

【 節水の仕組み 】

これまで洗剤を使用した小便器清掃を週5回行っていたが、UFB導入後は週1回に変更。洗剤を使用した清掃を減らすことで水使用量を削減し、節水を実現。小便器の美観はこれまで通りに保たれている。

【 使用機器 】

キャビテーション式のUFB発生装置を採用。
オフィスビル内の受水槽にUFB発生装置を設置し循環生成。
全ての水栓からUFB水を供給。

【 節水/CO2の削減効果 】

- 節水量 従来比 約78%削減
- 導入したオフィスビルの節水量 約9.6 t /年間 ※オフィスビル1物件の導入例
小便器数；25基 1回あたりの水使用量：2L の場合で計算

■企業名称 株式会社シバタ <https://shibata-corp.co.jp/>

■お問合せ先 ファインバブル事業部 info_fb@shibata-corp.co.jp